10　　猟師、仏を射る 　　　　　　　　　　　　　　形容詞

猟師思ふやう、「この事ア試みてん。これ罪得べき事にイあらず」と思ひて、尖矢を弓につがひて、聖の拝み入りたる上よりさし越して、弓を強く引きて、ひやうと射たりければ、御胸の程に当たるやうにて、火をうち消つごとくにて光もウ失せぬ。谷へとどろめきて逃げ行く音す。聖、「これはいかにし給へるぞ」と言ひて、泣き惑ふ事限りなし。男申しけるは、「聖の目にこそ見え給はめ、我が罪深き者の目に見え給へば、試み奉らんと思ひてエ射つるなり。まことの仏ならば、よも矢は立ち給はじ。さればあやしき物なり」と言ひけり。

夜明けて、血を尋めて行きて、一町ばかり行きて、谷の底に大きなる狸、胸より尖矢を射通されて死して伏せりけり。

【本文チェック】

①　ア～エの動詞の、活用の種類・文中での活用形を書きなさい。

　ア（　　　行　　　　　活用　　　　形）

　イ（　　　行　　　　　活用　　　　形）

　ウ（　　　行　　　　　活用　　　　形）

　エ（　　　行　　　　　活用　　　　形）

②「男」と同じ人物を表す語を、一つ探して□で囲みなさい。

③傍線部の右の（　）に適当な語句を入れ、現代語訳を完成させなさい。

　見た（　　　　　　）

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の読みを、現代仮名遣いで答えよ。

１　聖〔２〕（　　　　　　　）

２　尋む〔７〕（　　　　　む）

問２　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

１　いかに〔４〕　　①（　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　②どうして・なぜ

　　　　　　　　　　③どれほど・どんなに

　　　　　　　　　　④なんと・じつに

２　見ゆ〔４～５〕　①見える

　　　　　　　　　　②現れる・会う

　　　　　　　　　　③結婚する

　　　　　　　　　　④（　　　　　　　　）

問３　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　これを悲しび思すこと限りなし。（源氏物語）

　ア　永遠でない　　イ　価値がない

　ウ　最低だ　　　　エ　この上もない

　（　　　）

２　「かた時」とのたまふに、あやしくなりはべりぬ。（竹取物語）

　ア　恐ろしい　　イ　疑わしい

　ウ　しい　　　エ　みすぼらしい

　（　　　）

３　妻子ども泣き惑へども、かひなし。（宇治拾遺物語）

　ア　探し回る　　イ　騒ぎ立てる

　ウ　取り乱す　　エ　引き留める

　（　　　）

【文法力 ✚】

問４　次の活用表の空欄を埋めよ。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 久し | | なし | | 基本形 |
|  | |  | | 語幹 |
|  | （　　） |  | （　　） | 未然形 |
|  |  |  |  | 連用形 |
| ○ |  | ○ |  | 終止形 |
|  |  |  |  | 連体形 |
| ○ |  | ○ |  | 已然形 |
|  | ○ |  | ○ | 命令形 |
|  | |  | | 活用の  種類 |

問５　次の傍線部の形容詞を、〔　〕内の指示に従って正しく改めよ。

１　十八日、…海荒し〔已然形〕ば舟ださず。（土佐日記）

（　　　　　　　）

２　世の①はかなし〔連体形〕ことも、②うらなし〔連用形〕いひまむこそ③うれし〔連体形〕べきに、（徒然草）

①（　　　　　　　）　②（　　　　　　　）　③（　　　　　　　）

【探究】

問６　高徳の僧であるはずの「聖」は、が現れたと思って感激し、ありがたがったが、それは実はが化けたものであった。なぜ聖は狸にだまされてしまったと思うか。

ア　信仰心が強すぎたから。

イ　世間知らずだから。

ウ　思考力が低下していたから。

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝マ・上一段・連用　イ＝ラ・変格・未然

　　ウ＝サ・下二段・連用　エ＝ヤ・上一段・連用

②　猟師

③　ところ

問１　１＝ひじり　２＝と

問２　１＝どう　２＝見せる

問３　１＝エ　２＝イ　３＝ウ

問４　（なし） な｜く　から｜く　かり｜し○｜き　かる｜けれ○｜〇　かれ｜ク活用

　　　（久し） 久｜しく　しから｜しく　しかり｜し○｜しき　しかる｜しけれ○ ｜○ 　しかれ｜シク活用

問５　１＝荒けれ

　　　２　①＝はかなき　②＝うらなく　③＝うれしかる

問６　（例）イ　「聖」は俗世を避けて山野で修行することも多く、よく言えば純粋だが、それは世間的な知恵が足りないということでもあるから。

　　観点　古文における「聖」のあり方を考えると、ア・イ・ウどの選択肢にも結びつけることが可能である。ただし、選んだ選択肢の文言につながる特徴をきちんと述べること。

【現代語訳】

問３　１　このことを悲しく思いなさることはこの上もない。

　　　２　「ほんのしばらくの間」とおっしゃるので、疑わしくなりました。

　　　３　妻子たちは泣いて取り乱すけれども、どうしようもない。

問５　１　十八日、…海が荒れているので舟を出さない。

　　　２　世間の頼りないことも、何の隠すこともなく言い合って（心を）慰めてこそ、うれしいことであろうに、